

自治体SDGs推進評価・調査検討会からの講評

提案者	講評
大阪府熊取町	・ 地元の人をアドバイザーにすることはモデル性がある。 ・ 関西国際空港にも近く、2025 年大阪・関西万博も開催されることから、面白い取組ができるのではないかと。自治体職員としてビジョンをしっかりと持って取り組んでほしい。 ・ 地元産業の育成はSDGsの目標9「産業と技術革新の基盤をつくろう」に当てはまることから、良いのではないかと。 ・ 課題がSDGsというよりは、産業振興に寄りすぎている。また、「ベッドタウンの特性を踏まえた」の「特性」は何なのか、環境・経済・社会の観点で明確にされると良い。 ・ 大阪の衰退した産業地域で、新たな地場産業を創出するには、専門家の獲得だけでなく、自治体のビジョンと覚悟が必要である。 ・ 専門家に関する情報が弱く、適切であるかどうかやや曖昧。 ・ 専門家のモデル事業での役割、地域との連携、自治体の準備推進状況について説明が必要と考える。 ・ 専門家を呼ぶに留まらず、地域特性も踏まえた丁寧な議論が必要と思慮される。 ・ 今回の提案書では、その具体的な手法が描ききれていない。具現化への戦略が必要である。 ・ 「産業振興」という大きな課題に対し、一人の専門家に多くを期待しすぎではないかと。